

塩治 地区

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩治地区社会福祉協議会 事務所 塩治コミュニティセンター内 TEL 21-0248
塩治社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>



10月21日(日)、平成最後の『塩治地区児童福祉綱引き大会』が開催されました。

外は秋晴れ、塩治小学校の体育館の中も心地よい気温で試合は大いに盛り上がりました。本年度は23分団すべてが参加し、4分団が複数チーム、15分団が単独チーム、4分団が合同チームを結成し、25チームで競技を行うことができました。

昨年度優勝チームである天団青チームの元気な選手宣誓のあと、試合が始まりました。

全チームを6ブロックに分けての予選リーグでは、358名の子どもたちがみんなで全力を出し合って、白熱した戦いが繰り広げられ、各ブロックの1位が対戦する決勝トーナメントでも熱戦が続き、引率者や保護者の方の応援が特に大きかった宮松チームが見事優勝しました。

子ども会会長の樋野さんを中心とした23名の役員の方々の見事な連携プレーによって、大変スムーズな大会運営を行うことができ、声をからしながらも試合進行をしていただいた片岡さんには敬意を表したいと思います。また50名の引率者の方にはリハーサルへの参加、そして当日の子どもたちの掌握等大変お世話になりました。

子どもたちは力をあわせて戦い、勝っても負けてもみんなで協力しあうといういい経験をしてくれたと思います。(理事 土屋 淳)



大会結果

- 1位 宮松チーム
- 2位 向山チーム
- 3位 揚2赤チーム
- 敢闘賞

中天神、半分青、南天神チーム



NPO エスパンサとの福祉座談会

9月28日(金)、コミュニティセンターにおいて、NPO 法人エスパンサと塩冶社協との意見交換会を開催しました。エスパンサはポルトガル語で「希望」、2008年頃から約10年、文化や言葉の違いを超えて、「一人一人が安心して生きることが



できる社会へ」を目標に活動を行っているとのこと。出雲市では島根県の中で外国人が一番多く、現在約4500人、そのうちブラジル人は約3300人、この数年で大幅に増えており、今後も増加する傾向にあるようです。

座談会では、違う国から来ているいろいろな不安を持ち、社会に受け入れられていないのでは?といった思いをする人やたくさんの子供たちを支援する活動が必要、地域の皆さんと一緒に安心して生活が出来るよう、情報交換をしながらいろいろな行事を楽しみ、交流が出来れば良いという意見がありました。交流の場をたくさん作り、まずは声かけや雑談を通じて友達になることからです。

(取材：広報広聴部)

認知症研修会

「認知症の現状と理解について」

11月11日(日)、コミュニティセンター集会室において、認知症の人と家族の会島根県支部代表であり、(有)えるだー取締役黒松基子講師を招いて、地域住民8名、百寿会会員38名、塩冶社協理事及び福祉委員21名、民生児童委員13名、合計80名の参加で「認知症の現状とその理解について」と題して

「認知症を知る」、「理解と援助」など大変参考になる内容でした。

具体的な症状や事例に対して、家族や地域の人の接し方など、出雲弁を交えてのお話に時を忘れて楽しく笑いながらの研修となりました。



認知症の人のためにできる10カ条

- 1. 見逃すな、「あれ、おかしい?」は大事なサイン
- 2. 早めに受診を、治る病果もある。
- 3. 知は力。痴呆の正しい知識を身につけよう。
- 4. 介護保険など、サービスを積極的に利用しよう。
- 5. サービスの質を見分ける目をもとう。
- 6. 経験者は知識の宝庫。いつでも気軽に相談を。
- 7. 今できることは知り、それは大切に。
- 8. 恥じず、隠さず、ネットワークを広げよう。
- 9. 自分も大切に、介護以外の時間ももとう。
- 10. 往年のその人らしい日々を。

最後は参加者からの質問や心配ごとに関する質疑の時間も、大変有意義な研修を終えることができました。

(総務部 田口英明)

しまね認知症コールセンター (無料相談)

☎0853-22-4105

相談受付：月曜日～金曜日 午前10時～午後4時まで

半分・揚東 サロン会

うたごえバスで 秋のお出かけ!

10月16日(火)、今回は秋の研修旅行、半分と揚東の合同サロン会、半分15名揚東21名の合計36名の参加者で鳥取県境港市に出かけました。

行きの車中は「うたごえバス」となり、92歳になる男性は「北国の春」を熱唱! また「人生楽ありや苦もあるさ〜」など・・・手拍子に合わせて懐メロの大合唱! あっという間に境港に到着しました。



まずはダルビッシュ投手も使用しているシューズメーカーの山陰アシックス工業株式会社です。社名は知っていても鳥取が発祥の地とは知らず驚きました。



昨年、全面改築が行われ、環境に配慮された最新の工場です。工場見学の受け入れも積極的で、シューズの裁断から梱包までの工程を間近に、シューズを手にしながら説明を受けました。歴代のシューズ(アベベやQちゃんを使用したもの、足袋形もありました。)や最新の各種スポーツシューズも見る事が出来ました。創業者鬼塚喜八郎氏の「健全なる精神と身体」への「健康なるシューズ」製造の想いを引き継いだ社員の方々には同じ山陰の人間として誇らしく感じました。

昼食は大漁市場「なかうら」のお食事処です。くじで席を決め、話したことのない方とも一緒にカニを食べながら話も弾み、満足した後は水木しげるロードの散策と記念館の見学です。

この間の道のりが思った以上にありましたが、記念館では不思議な妖怪の世界と水木氏の人となりを知る事ができ、また楽しい記念写真も



写せました。帰路のバスでは、またカラオケとビンゴを楽しみながら、よく感動し、よく笑い、よく歌い、よく歩き、よくおしゃべりした研修旅行を終えました。

最後に両百寿会のご支援と今回企画して頂きました半分の飯國さん、田口理事に感謝いたします。

(理事 錦織二三枝)

弓原 サロン会

音楽とゲームで 脳を活性化しよう!

10月18日(木)、今年度第2回目のサロン会を弓原集会所において、参加者24名で開催しました。

講師として「福祉音楽レクリエーション活動家」齋藤大輔さんをお招きし、音楽やゲームなどを取り入れた、座ったままで出来る簡単なレクリエーションを行いました。

まず最初に講師の方より「音楽やゲームなどを利用し楽しく手や身体を動かすことは、脳を活性化し、認知症予防や介護予防にとってもよい」というお話を聞き、さっそく両手を使った一人じゃんけんをしました。ゆっくりならなんとかできますが、向かい合って二人組になり、音楽に合わせて歌いながら…となると、なかなかうまく出来ません。



最初は固かった皆さんの表情も次第に和らいで、笑い声が集会所いっばいに響き渡りました。このように、出来ないことを一生懸命にやっている時は、脳全体をしっかりと使っているのだそうで、「笑う」ということも脳の活性化にはとても有効だそうです。



「久しぶりに大笑いしたわー。」「手や身体を動かしたり、頭の体操をしたり、とても良かったわー。」など、みなさんとても楽しそうで、好評のうちに一時間があっという間に過ぎていきました。

レクリエーション終了後は参加者みんなて軽食をいただき、楽しく交流を深めました。

(理事 加茂喜美江)



菅沢・下沢 サロン会

秋のお出かけ 島根富士通を見学しました!

11月9日(金)、今年2回目のサロン会は少し趣向を変えて、斐川の「島根富士通」の見学です。富士通が出雲に進出してすいぶん経ちますが、工場の中がどうなっているのか全く分からないということで、理事や福祉委員を含めて19名の参加者でお邪魔しました。



工場に到着すると、まずはビデオで島根富士通の概要を紹介いただきました。2棟ある工場で約1000人が24時間体制で働いていることや国内のパソコンメーカーでプリント基板を一から自社で作っているのはここだけであること、「Made in Japan」のこだわりのもと、ノートパソコンやタブレットを製品として組み立てるまでを一貫して行っており、日本一のパソコン出荷台数を誇る生産拠点との説明がありました。

その後は工場内部を2班に分かれて案内いただきました。1階はパソコンの基板を作るところ、いくつもの製造ラインがほとんど自動化され、人がとても少ない工場です。次に2階、世界中から受けた個別の注文に対し、1階で作った基板といろいろな部品を組み立てて、パソコンやタブレットの完成品を作り、包装まで行う場所です。工場全体では毎日約7000~8000台の製品が製造されているそうです。また各ラインには検査機器や試験が行われる場所があり、不良品が出ない工夫がされていました。

大規模な工場内部とその造りには、改めてすごい世界があるものだとつくづく感心させられました。



工場視察の後には四季荘に移動して昼食です。食べながら、工場視察はとても良かったことや日頃の生活のこと等、いろいろな話で盛り上がりました。また温泉を楽しむ方もあり、今回もとても楽しく過ごすことができました。

(理事 古瀬・土屋)

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。

今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(10月1日から11月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名 故人名 区域名 寄附金額

--	--	--	--

※ 掲載欄の 一は、掲載を希望されない方

天神サロン会

レクリエーションで心も身体も健康に!

11月18日(日)、天神サロン会を34名の参加により特別養護老人ホームで開催しました。講師に島根県レクリエーション協会の梶谷清美さんを迎え、「レクリエーションで心も身体も健康に」をテーマに指導を受けました。



元気アップ活動として積極的に「身体を動かす、声を出す、大いに笑う」ことで大腿四頭筋が鍛えられ、脳の活性化につながり、家庭でも継続して行うことが大切とお話いただきました。歌いながら手や指を動かし、2人1組になり身近なものを使ってゲームを楽しむなど、笑い声の絶えない一時を過ごすことができました。

後半は出雲市社協の大迫慎二郎さんに「聞いてよ! よもやま話」をテーマに講演をしていただきました。

福祉は◎普段の◎暮らしの ◎幸せ作りを目指している。「手話言語条例」

が施行され、手話の理解と普及に取組み始めたこと。また障がい者や老人の不自由は共通しているところもあり、見た目には分からないので、



ヘルプマークを活用してほしい。これを見た人が声掛けをすることで支援となり、普段の暮らしの幸せづくり(福祉)が身近になるのではとの話です。最後に可愛い姉弟ちゃんの歌と手遊びの披露があり、前に進む勇気とほっこりと暖かな気持ちになった講演でした。(理事 廣澤ますみ)

***** 編集後記 *****

平成30年節目の年がもうすぐ終わろうとしています。今年は大雪に始まり4月大田地震、7月西日本豪雨、その後の真夏の酷暑そして大型台風と自然の力に振り回された一年でした。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。塩冶地区では幸い大きな被害はなかったとのことですが、それぞれのご家庭では様々な出来事があった一年と思います。来年こそは、^{にちにちこれこうじつ}日日是好日であることを願っております。良い年をお迎えください。(理事 高瀬行夫)

この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。

◆◆◆愛友会だより◆◆◆

10月14日(日)、有原中央公園で「塩冶愛友会と古志愛友会の交流グラウンドゴルフ大会」が開催され、社協理事も参加し、車イスの方の介助も行いながら、グラウンドゴルフを楽しみました。公園の地面には凹凸があり思うようには打てませんが、それでも中にはホールインワンを記録される人もあり、自分のスコアに一喜一憂しながら、全員で2ラウンドを楽しみました。



参加された皆さん、良い天気の中でグラウンドゴルフをたっぷり楽しめたようです。お疲れさまでした。

(取材: 広報広聴部)